常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話(代表)2104番 2105番

「夏家具」 冷蔵庫・スタレ ハイチョウ・トウイス デッキイス・其ノ他 大量取ソロえ 大特売中
伊東家具店 平市新川町 電話二四六四

徹底しない青色申告

平税務署「所得税に関する世論調査」

平税務署では管内の納税者を対象に「所得税に関する世論調査」を行なうたが、このほどとまつた。この調査は管内の納税者にアンケート式の回答を求めたもので、うち二十五人が回答してきた。回答してきた職業は商業十五人、製造業五人、給与所得者一人、その他五人で、年令別にみると三十才から四十九才までが十四人、五十才から六十九才までが九人、三十才未満と七十才以上は各一人の割合となつている。

印象残る新聞宣伝 大半は納税組合に加入

第一問は税務署では、所得税のことについてよく知つていただくため、毎年いろいろの広報活動を行つていますが、あなたは知つていますか——に対しては「よく知つている」が過半数の十五人、「うすうす知つている」が九人で「知らない」が僅か一人であつた。

第二問は第一問に対して回答したもののうちからの回答であり税のことについて広報宣伝で、一番印象に残つているものには「税務署からの通知で知つた」ものが多く九人、次いで「新聞」によるもの五人、「説明会」四人「ラジオ」二人「チラシ」は僅か一人であり、「その他」は三人となつている。

第三問、税務署は所得額を事前に知らせることをやめましたが、知つていますか——では「知つている」と回答したものが圧倒的で二十人、「知らない」というのは三人で、回答のなかつたのは一人。

第四問、第三問のことについて「なんで知つたか」では税務署九人、新聞七人、ラジオ一人、その他三人で、間接の広報活動が徹底していることがうかがわれる。

第五問では「確定申告」について、一番多く気がついたのは何か——ではポスターと宣伝車による宣伝が多くみられ、ポスター七人、宣伝車による宣伝六人、立看板五人、新聞記事三人、他はラジオ、チラシ各一人である。

第六問の確定申告のポスターをどこで見ましたかでは、街頭九人、市役所などの掲示板七人、郵便局や銀行五人、その他三人で、商業の広報活動が徹底していることがうかがわれる。

第七問は「納税組合に入つていますか——」では「入つている」が十四人、「入つていない」が九人で「知らない」が一人であつた。

第八問は「納税組合のあることを知つているか」について回答を求めたところ、知らないと答えたものは一人もおらず、第十三問の「納税組合に入つてどのように感じたか」については「貯蓄の習慣がつき、納税に対しての心配がなくなつた——が十二人で、他に回答はなかつた。ところで納税貯蓄組合に入つている人たちの理由としては「個人でも納税貯蓄はできる」(七人)▽収入時期が一定しない(四人)▽加入の手続きを知らない(一人)となつている。

なお、勿来税務署は奈良あるものと見て取調べている。

星氏に落札

植田と沼部間改良工事

勿来市植田主木事務所は三日午前十時から沼部—植田間総延長三百五十五メートル、巾員十二メートル街路改良工事の指名入札を行つた結果、二百四万三千円で錦織見初大郎氏に落札した。

馬目君らあす出発

マニラにボーイスカウト世界大会

十七日からフイリツピンで開かれる第十回世界ボーイスカウト・ジャンボリー(BSS大会)に日本代表団の一員として参加する県第三十大隊の馬目勝弘君(四=平市三丁目、平一中一年生)と江尻博三郎君(五=平市三丁目、磐城一年生)の二隊員があす五日午前九時二十五分平発磐東線で出発、福島に一泊ののち東京一泊、十日午後一時神戸港を出航する。

世界大会参加は平市から初めて、大会は七月十七日から二十六日までの十日間、フイリツピン・マニラ市郊外百二十キロのマツキリン国立公園十万国から約一万人のボーイスカウトが参加するが、ジャンボリー大会が極東地区で開かれるのはめずらしく日本から五百人の隊員が参加するもの。

江尻、馬目両隊員は平市内唯一のボーイスカウト三班会(県三十六隊)の隊員として活躍、その功が認められたもの。八月十日ごろ神戸港着、京都の観光湖で一週間日本ジャンボリーを開いて、八月二十二日ごろ帰平する。

退職者にも夏期手当を

常磐炭礦解雇者同志会

常磐炭礦解雇者同志会(斎藤仁好会長、会員百八十六名)の第一回臨時総会は三日午前九時半から三崎公園で開き❶今後の就職問題❷夏期手当獲得運動についてなどを協議する。

空巣に御用心

勿来 25件も働いた男捕る

勿来警は三日午前九時、勿来市植田町本町七無職前科二犯江尻博(五)を窃盗の疑いで任意出頭を求め取調べた結果、犯行を自供した。

調べによると、江尻は六月二十五日午後一時ごろ、勿来市植田町天神町蜷田農蔵さん方にしのび入り現金計一〇、男物スボン一留など時価三千円相当を盗んだ。また今年二月から六月までの間に、市内植田町からゴム長靴、地下タビ、ミカンなど二十五件、時価二万円相当の物品を盗んでいたことも自供した。江尻の家では四男を含む五人の子供がいるが、家の仕事も手伝わず職業安定所にもついていないので、小遣に困つていたものと見られている。

工藤くん、平に立つよる

病気の学生をはげましながら みちのくの写真行脚

東北、北海道の撮影をかね、途中体の弱い学生を励ますため自転車で東北一周の旅を続けている学生がきょう平市に立寄つた。この人は日大学芸学部一年生の工藤五六さん(三)で工藤さんは十七才のとき脚をわずらい、自分と同じ友を励ますため夏休みを利用して五十日間東北、北海道一周の旅をつづけているもの。二日朝、東京を出発、先輩や友人の家にとめてもらい、一日八十キロのコースで走り撮影した風景を十月の写真祭に出品するもの。なお同人は年の暮休みには九州まで行くと元気な姿で一路郡山町に向つて出発した。

【写真は東北一周の工藤君】

市会議員と記者クラブの珍野球観戦記

文 五月蠅士

○…平市議会と平記者会の親善野球大会、さては東北大会へのはなむけと銘じたいが、初戦だから勝ちを狙うが、平一中校庭で行われた。七回戦で得点に面倒ともに申合わせたように三日校庭で行われた。七回戦で得点に面倒ともに申合わせたように四点、仲良く引分けとなり、いずれもおとらぬ猛者そろいだけにその内容たるや好打、好守の連続、まさに天晴試合をしのぐの感があつた観衆のいなかつたのが如何にも残念。いや幸いであつた。記者チームを褒めあげるとペンの勢?なんと議員チームからおうらみをうけるだから我田引水にならぬよう以下議員チームの好プレーを三番目拾ろう申上げて、県下の議員さんたちのクラブの先攻、若さにものを言わせ、一息に攻めおとしレフトを守る新人山辺選手の好守、好打、好走ぶり流石、当るは当らぬは時の運、テンポリも野球のうちと割り切つているあたりたしかにサムライ選手、相手チームにとつて頼もしき存在いや恐しい存在でした。

○…今シーズンから後とした選手と言えばこのほか左腕投手の松本議員、ファーストを守つてこの日最大のファインプレーを演じてみせた和員議員、更にサードを守り攻守に大活躍の大和田栗議員がいよいよハイハイレベル走者を一塁に刺した和員選手のファイトは、議員チームに年令をわすれさせて余りあるものだつた。左腕松本投手の出現は、ゴマセレでは名だたる上坂投手を温存できる上でもプラスだが、昔とつてキネツカというべき、左腕からビシビシと絞り込む快球は、記者チームには大きなかく、他市の議員チームには大きな脅威であろう。

○…三塁を守つた大和田選手の力余るプレーも父たのもしい存在。張り切りすぎて一塁投球が一塁で止まる離は多かり、初戦だから致しかたあるまい。ジャジャ馬も乗りこなせば名馬のたとい、二、三度プレーしているうちにはクタビレてほどよい投球になりそう。何とつても一打ホームランも認でない怪力の持主であり、しかも吉報の方もたしかだからアロでいうなれば、長島まではゆかなくとも、西鉄の中西タイプ。大試合ともなれば大いに本領を発揮しそうだ。

○…試合記者クラブの先攻、若さにものを言わせ、一息に攻めおとしたクラブの怒忍をクジイたのが先づ張り切り屋、坂本紙店議員である。好調ならショートを守るのだが、体の調子がわるいのでこの日はセカンド(二塁)を守つたのだそうであるが、セカンド弱しと言わざるをなかつたのだが、二本、三本と激しくセカンド方面を襲つた安打性の猛ゴロが悪い坂本議員に好捕されて大の番狂わせ。不調なときでこれだからあとは言わずもがなである。

○…投げてよし打つてよし、しゃべつてよしの上坂議員、委員長になつて当りをとりもどした(小野栄議員談)佐藤友寿議員確実にあつてゆく小野栄議員などはいまさら紹介するまでもなく名選手であるが、今シーズンから上り四四〇列車内で勿来市四沢町大日本綿製鉱社二十号の二、炭鉱夫細川孫一郎さん(三)は泉—植田間でスボンの尻ポケットから現金二百八十円入りの財布をすられた上公安課に届けた。

四日、平鉱山

支柱が落ち左手を骨折

保安監督官部

五時ごろ炭城共同炭城市の常磐中郷第三坑北鉱内で働いていた採炭夫、高橋泉次郎さん(三巳)は、支柱の上柱が突然倒れ、下敷きとなり、坑木の間に左手をはさまれて左腕指を骨折し、全治二カ月の重傷を負つた。

交通安全会を結成を

常磐署 安全旬間の反省

常磐署交通安全旬間反省会は三日午後三時から同市郡工会議所二階会議室に渡辺常磐署長、渡辺交部長◆四日=湯本、白水、平◆五日=奈良井、水石山◆六日=夜井片栗谷、背戸が廊◆七日=七夕。

常磐署長、署員が出て当然されたのが疑わしい。すべてが万事こんなことでサンセイされ常識されていると思うと議員を選び直さなければアブなくて市政を負かしておけない。

安保改訂の反対を推進する革新陣営にとつては保守の強い平市がどのような決議をしてくれたということは「こよなき口実」だろう。平市が決議したのだからということで常磐地区の各市町村にも伝染する可能性もある。平のこの郷を繰り返さないように肝に銘じておく、と同時に平市議会はその態度を認め速やかに臨時市会を開いて権威のある態度を明示すべきである。

平五 電三〇六六

大谷石

上井

平市議会が満場一致で決議した原水爆禁止決議文の中のいくつかの条項が、決議をしてしまつたあとでいろいろと物議をかもし出している。満場一致、しかも一言反対の異論もなくアッという間に決つたものが、あとで問題になるとはまことに不可解なことだが、関係者の話を総合すると、お座敷の原水爆反対決議とのみ込んで内容を検討しなかつたという。

ときの天下と与をひくような大問題を飛びつんでおきながらあきれ果てたものである。一部におそまきながら、決議文の一部削除の動きもあるが、軽率のそしりはまぬがれまい。

問題の焦点となつているのは原水爆禁止決議文旨第二項「核武装と海外派兵を必然化する安保条約改訂を即時止めよ」という条項である。このようなものを地方の一議会がとりあげることだけでも考えものだが、それはよしとしても、安保条約の改定はいま検討の過程にあるもので、その内容すら知つている議員は少ない。そのようなものを「改定は核武装と海外派兵を義務づけている」と断定することは行過ぎである。

この改定に強く反対する社会党でさえ「核武装と海外派兵の危険をともなうような改訂」には反対であると仮定に立つた論陣をしているとき、保守派が大多数を占める平市議会が、断定的な決議をしたのだから当然の反響だろう。しかもその決議案提出されたのは行くも平平件の十周年に当る六月の三十日であつた。こんなことから「平平件の平だからやりかねまい」という見方さえ伝えられているという。平市の共産化なんて商工以外に反響の大きいことから当局もすつかり頭を痛くしているようだが、当の決議案をプリントして出した市議会事務局でも「例年通りの反対決議と軽く考え内容を検討しなかつたことは全くの不注意だつた」とショゲている。が事務局や当局の手落ちだけではない。何の不思議もなく通した三十六人の選良にも責任はある。もちろんこの三十六人の中には賛成議員も何人かはいるだろう。また反対議員もいたはずである。真剣に一つ一つの議案を各議員が検討していたとすれば反対意見が出て当然激しい論戦の末賛成多数で決議されたという始末このような国にもならなかつたろう。

議会の終つたあとでペテンにかけられたと発言した議員のいたことでもわかるように大方の議員はウノミにしていた。

退職校長にテレビ寄贈

湯本二小のPTAが

常磐市の湯本二中のPTA(小林修次会長)では今春退職した前校長の菅沢不二氏(平市四町町一八)に対し記念品をおくろうと協議した結果、満場一致の賛成を得、会員からの寄付金五万七千百十円で三台、シャープテレビ十四インチ一台をおくつた。

内郷市の定例市議会最終日は、昨日午前九時半から三時間半余で開かれ、一般会計予算追加更正予算など十四議案を可決、原水爆禁止などを満場一致で決議した。決議内容は次のとおり。

人類は今「原爆死か、平和か」という岐路にたたされており、同時に日本は「核武装か他国家の奴隷かか」——これは世界よりの核兵器で攻撃され、日本が最大の被害国になることである——平和友好によるアジアの平和かつ自主的な国家を建設しようとする人類の要求である。

三度原水爆の惨禍をうけた日本国民は原水爆禁止を強く要求するとともに、核兵器を使用する戦争をも、人道上許すことはできない。とくに日本は、沖縄に核兵器を持込み、日本が核武装することは、広島、長崎の被爆者の生々しい記憶をもつ日本国民の断じて許せないものである。

日本の核、ミサイル武装或いは、核、ミサイル兵器持込みは、これを阻止することを前提とし、同時にこれへの報復としての原水爆の被害を招くことを絶きにしては考えられない。

我々の平和への希求はこの恐るべき原水爆を永久に地上より放棄し、平和親善による友好関係の促進によつてのみ実現されることを確信し、以下のことを決議する。

一、米英ソ三国は、ジュネーブ会議において核実験停止協定をすみやかに結ぶべきである。東西外相会議は官僚会議を開く。東西外相会議は直ちに核実験停止を行うべきである。

一、政府は日本本土、沖縄への核、ミサイル兵器持込みを中止し、同時に自衛隊の核、ミサイル兵器装備計画を放棄すべきである。

一、日本の核武装と海外派兵を必然化する安保条約改定を即時止めるべきである。

一、政府、国会は速やかに日本の「非核武装宣言」を発し、アジア、太平洋を核非武装地帯とするよう各国政府に働きかけるべきである。

一、福島県内郷市には、核、ミサイル兵器を持込むことを許さず、これを装備した軍隊の通過駐留を認めない。

一、内外の注目を集めて東京で開かれる第五回原水爆禁止世界大会を支持し、これへの参加協力を行う。

福島県内郷市議会

学校での発生防ぐ

平の教委で防疫対策

ことしの夏は伝染病が多発する傾向にあるといわれ、保健所や関係当局では予防対策に大忙となつている。このため平市教育委員会で市内各学校における伝染病、食中毒の防止などの徹底を期するため、市内各学校に対し予防と措置について次のような注意をうながしている。

◆伝染病、食中毒の発生防止❶児童生徒の注意と早期発見❷健康調査❸消毒した場合は、自主的欠席をさせる❹地域内の発生と流行状況に注意

◆学校環境衛生管理の強化徹底❶定期的飲料水の検査❷炊事場調理施設などの環境改善❸給食用具の清潔❹ねずみ族、こん虫の発生防止と駆除

◆職員衛生管理の保健管理と保健指導の強化徹底❶検便の励行❷身体、衣服の清潔保持❸児童生徒に対する保健教育強化❹食前等の手洗い励行❺保護者に集団発生状況などを周知させる。

無免許のバイクに追突

三日午後六時半ごろ常磐市湯本八山三八地内国道を通行中の勿来市植田字本町五三、金物商大野周拓さん(三三)の運転するバイクは前を走つていた同市八山三八、炭鉱夫宮内登代一さん(四〇)の無免許バイクを追越そうとして追突、この為大野さんは額面に傷を負い、宮内さんも左脚に一週間の傷を負つた。

街の人気さらう

お猿の三吉君

「親の代からカリウドで…」のセリフにあわせて面白がる猿まわしの三吉クン=は今年四歳になる平市の人気者で、猿使いの三吉君(平市四町一八)に対し記念品をおくろうと協議中。

余韻

平市会の原水爆反対決議の内容が日時のたつにつれて意外な程と大きな反響を呼んでいるさきにこの欄でも紹介したが、とさきの天下が政治生命をかけてさえいる保保条約の核武装と海外派兵を義務づけるものと決めつけたからである▼よくよく調べてみると理解した議員さんたち自身内容をよく知らなかつたようだ。反響が大きいので一部から何とかしなくてはという声も出ているようだが、こんな重大問題を内容もキンミしないで通したとはあきれたもんだ▼決議したあとでペテンにかかつたでは申訳けが立たない。選ばれて市政に参与する以上、マーそうですかでは済まされない。あなたがたの一言一句は即ち市民につながる。選挙が終つてまだ一年と経つて居ないのに今からこんなことでは先が思いやられる▼まぜもつ平市の人気者、猿使いの三吉クンとは百回目に義務を果たそうとしないのか。平が安保反対を決議したところで世界の状勢までひつくり返すようなことはあるまいから、済んだ決議は致し方ないとしつつも大事な議案がすべてこんな調子で審議されているようでは許せない▼一体議員は何と心得ているのか。金のバッチをつけ大名旅行をするのが議員ではない。議会は議員にも旬間中だけでなく平日もとくに交通量の多い幹国道で署員のかたに交通の取締りと指導をやつてもらいたいという意見が強い。これは議員は何のために選ばれたのか疑わしい。すべてが万事こんなことでサンセイされ常識されていると思うと議員を選び直さなければアブなくて市政を負かしておけない。

安保改訂の反対を推進する革新陣営にとつては保守の強い平市がどのような決議をしてくれたということは「こよなき口実」だろう。平市が決議したのだからということで常磐地区の各市町村にも伝染する可能性もある平のこの郷を繰り返さないように肝に銘じておく、と同時に平市議会はその態度を認め速やかに臨時市会を開いて権威のある態度を明示すべきである。

平五 電三〇六六

大谷石

上井

故夫 正平(俗称送の際は御多忙中にも拘らず遠路遠々御会葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜り御厚情誠に有難く謹く御礼申上げます
早速拝趨の上御礼申上げるのが本筋ですが略儀乍ら紙上を以つて御礼旁々御挨拶申上げます
昭和三十四年七月四日
平市才槌小路(坂巻靴店)
施主 坂巻ヨツ
外 親戚 一同

木山部長の帰朝歓迎会

ジュネーブの国際労働会議に出席した常磐炭礦鉱業所総務部長木山茂彦氏の帰朝歓迎祝賀会は六日午後五時から常磐市湯本こいと旅館で行う。

慶弔市録 4日

【平市】

【出生】▼加藤百合子(古鍛冶町寅雄長女)▼相本美雪(不動禁男松長女)▼桐原光男(大窪白土二九宗郎長男)▼鈴木哲二(四町町二三勝幸二男)

【死亡】▼馬上カネ(古鍛冶町三〇栄郎母)

【勿来市】

【出生】▼門脇章士夫(植田塩倉町三郎助二男)▼園部佐久子(湯戸町栄長女)

【死亡】▼小鍛治多美(鄭町江栗馬場忠昭母)

厚生医療指定病院 労災保険指定病院 肢体不自由者相談所
財団法人 竹林病院
院長 竹林卓吉
内科 外科 皮膚科 小児科 整形外科 泌尿器科 呼吸器科 理学診療科 レントゲン科
本院 平市十五丁目六三番地 電話四一三一・四一三二番
分院 平市小太郎町十三番地 電話四一三三番

純潔は貴からずや?
服地には もう 都なものへの郷愛を捨てなければならない時が来ております あのナイロンに今度はテトロンを寄てみていよいよはっきりさせられましたテトロン50%羊毛50%の布地は最も良い配合の服地です
テイジン TEIJIN テトロン
特約店 大丈夫 4870 ビクター 永島洋服店

平商工会議所も昭和二十二年二月創立以来関係御当局の御指導と全会員の協力一致の精神により新法による組織変更をし、また孫本施設いる商工会館の建設等を完成し、更に年次事業計画を円滑に運営して今日に至りました。就きましては創立十周年を記念し左記により記念講演会を開催致します。御入場無料、会員に限らず御聴講下さい。

記
一、日時 三十四年七月七日 午後一時〜三時
二、場所 平市公会堂日本間
三、講師 政治評論家 三武清氏
日本銀行福島支店長 根本清介氏
主催 平商工会議所

石炭コークス
火力の強い 火持の長い カスの少い
徳用石炭
※電話二一三七番 二一三八番へ
一俵ずつお届けいたします
平五一四四 常磐炭礦販売会社

大黒風呂釜
渡辺工業所 TEL(平)四五八三

不動産売買・仲介評価貸家斡旋
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際 色川材木店内 電三六一番

近代科学が生んだ素晴しい自転車
鋼鉄製・全廻転部防水式
山口の自転車
山口のモーター
平市紺屋町 電五〇〇三 大高自転車店

ユメとロマンを盛った贈物
越藤
平市 電3141番

常磐毎日新聞
（定価一カ月100円●一部売5円）　（第三種郵便物認可）

日教組大会傍聴記

大河原一夫

高知市で六月十日開かれた第二十一回日教組大会を傍聴して反もうとく感じたのは、主流派反主流派の考え方のちがいが予想外に大きいことである。五十万の組合員を持つ全国組織とあっては、多少の意見の相違があるのは当然であるが、六日間にわたる討論をきいていると平行線を思わせるものがあった。

私は主流派、反主流派などというものは興味本位に面白ジャーナリズムがいみありそうにあおりたてるため、ことさらそのように思わせるとの理解により、へんな先入観をもって大会傍聴するのは誤りであるとの判断のもとに、あえて白紙で傍聴してみた。

紙過報告に対する質疑応答、昨年度の斗いの総括、本年度の運動方針についての討論と瞬時が進むにつれて、四百何十人の代議員の考え方ははっきりと二分されていることが次第にあきらかになってきた。具体的な意見の相違は、神奈川方式や勤評闘争に対する評価、社共両党の統一戦線強化などをめぐって表面化し、ときには文字どおりなぐりあってして激論が斗わされた。しかし、これをもって派ばつ斗争の現われだとは考えなかった。これだけのマンモス組織になれば、斗いの進め方に対して意見の分かれるのは当然であって、小林宏員長のあいさつにもあったように「相対立する意見をさらけ出して論争し、その結果をさらけ出してこそ互いに尊重してゆく」ことが組合民主主義にも合致するし、またどこかの代議員が述べたように「それなくして弁証法的発展はありえない」ともいえるからである。

しかし実際には、両者ハダカの意見は出しあったものの、ほとんどの点で歩みよりはないままの裏表によって結論を出さざるをえなかった。それは両者の間にあまりにも大きいイデオロギーの相違があったからである。「福知」「愛媛」「京都」「大阪」「和歌山」「福岡」「群馬」「千葉」などの強い斗いを進めてきた諸県の教組は「勤評はアメリカ帝国主義の原子戦略体制の一環としての安保体制確立への手段である。大衆を動員して実力による妥協のない戦いを続けることが唯一の勝利への道であって話合いによる解決は根本的な解決にはならない」との観点から審議会方式を真っ向から否定し統一戦線強化へ社共両党支持を打ち出すべきだと主張した。

一方、神奈川、岩手、宮城、宮崎、新潟などの諸県教組は「安保体制打破、勤評絶対反対」の基本線は認めるとも、苦しい斗いのなかで団結をかちとり、勤評闘則を強固させた神奈川の斗争の成果を無視するのは誤りであり、話合いの解決を一切みとめないことや、現段階で共産党支持に踏み切ることは現実的ではないとして強く反対した。

反主流派の意見は、つきつめていけば安保体制を打破し日本の中立が実現するまでは斗いの目的は達成されないとの理解であり、ハンカチ斗争の中で生れた、中央のジャーナリズムの中で正常な場所を与えられていない中央に開放されるだろう。また全国版は、地方の提出した問題に対して、中央のものの考え方がどの程度役立つか、自分自身をためすことになるだろう。

現実すぎる主流派
大会はヤシと怒号応酬

ホコを収めないことを意味する従ってこの方針でいけば、はてしない斗争が続くことは目ならない。階級斗争である限りこれは自明の理である。敵の厳しい攻撃の前に一枚一枚の手で生れ、ハンカチ斗争の中で生まれた、中央のジャーナリズムの中で正常な場所を与えられていない中央に開放されるだろう。また全国版は、地方の提出した問題に対して、中央のものの考え方がどの程度役立つか、自分自身をためすことになるだろう。

中央と地方をつなぐ新文化運動
サークル交流の雑誌を

磐農同窓会々長　大村哲也

新しい総合雑誌をつくる計画が進んでいる。総合雑誌というと、まず「世界」「中央公論」「文芸春秋」があげられるが、いま計画されているのはこの三誌とは全く性格が違う「思想」や「思想の科学」のような思想雑誌でもない。新しい形の雑誌なのだ。一口にいえばそれは全国的なサークル交流雑誌なのである。

国民文化会議という集まりがある会長は上原専祿一橋大学教授、この会議は四年前の昭和三十年七月文化人約六十人が発起人になり「働くものを中心とした明るく平和な国民文化の創造」を目標に、市ゆく全国の職場地域、労働組合のサークルが加わって作られたものだ。毎年一回サークル活動家、文化人を集めて全国集会を開いてきた。上原氏をはじめ、丸岡秀子、南博、日高六郎、鶴見俊輔、江藤淳、野間宏、佐々木基一、朝倉摂ら新しい日本文化の創造にサークルの持つ重要性を認める多くの文化人が、各地のサークル活動家と一緒に語り合い、考えてきた。この集まりが、こんどの雑誌計画の母体になったのである。話は一昨年の秋にさかのぼる。

九州に住む詩人で、現在は九州全域のサークル交流会である〝サークル村〟を作って活動している谷川雁氏が鶴見、日高両氏をはじめ加藤周一、木下順二氏を訪れ、サークルのあり方について激論したことがある。

地方の文化組織を強化する鏡

谷川氏の意見はこうだった。〝サークル運動はいま三つの理由でゆきづまっている。❶サークル人の目がすぐ中央、つまり東京に向き、逆に中央の専門家は地方に根をおろさない。❷サークル間の交流がないため画期組織が始まった。中央の文化人からは、サークルは農村職場みたいな扱いをうけている。時、時やってきては栄養を吸収して帰ってゆく。文化人はそれでよいだろうが、われわれはどうしたらよいのか、自分の位置づけもできなければ、交流もない。サークルの無数のロスを放くためには、われわれの手で日本を縦、横十文字に結び中央がわれわれの姿をうつす鏡の役割を果すべきである〟

谷川氏は地方の文化組織を強化する鏡――新しい雑誌をつくろうと呼びかけた。吾妻人をこえる出席者の共感を得た。中央に評議委員会を設ける二万名県単位の話し合いをすすめ、ことしの秋の全国集会までになんとかものにしようと約束した。

全国の文化人に計画案を配布

これから日高六郎氏（東大助教授）の活動が始まった。東北に行き関西に飛び各地の活動家と話し合いを続け、ことしの初めには有力な文化人を含めた「新雑誌計画部会」も発足した。メンバーは上原専祿、中野好夫、竹内好、加藤周一、木下順二、丸岡秀子、南博、山代巴、地方の活動家として谷川雁氏真壁仁（詩人、山形在住）須藤克三（評論家）鈴木道太（児童福祉司、仙台）の諸氏を加え、十六人、そしてあと三月二十一日には「新雑誌計画案」が全国の文化人、活動家におくられた。

計画案は間髪をいれずこういっている〝ますます広がる消費文化と大衆娯楽の流れは、国民の各層に圧倒的なマイナスの影響を与えている。こうした状態のなかで、真の要求を求めているエネルギー（サークルのこと）に新しい方法と機会を提供することです。そのために私たちは新雑誌の計画によりかかりました。新雑誌は従来のような東京中心的な編集方針ではダメです。日本の全人口の一割を占める東京も、一地方として一割の力で参加し、地方の九割の巨大な地方は、九割の力で参加すべきだと考えました。

新雑誌はその三分の一が地方版

東京以外の地方が九割の力で参加するのだから、成功の力は地方にもあるのだが、成功のカギは地方にかかっている。特に山形、宮城などではいつでも編集を引受けられる態勢だ。九州は谷川氏らがかなり強引な方法で九州全体をまとめており東京はいったいなにをうごめいているのだ、ハツパをかけているくらいだ。大阪は全国で動きだせばやろうといっている。

中国では、谷川氏が「荷車の歌」の作者山代巴さん（広島在住）を訪れて一晩くどいた結果、山代さんが中心になって組織を作ろうということになった。

全国各地のこのような動きのなかで、わが福島県の動きはいったいどのようになっているのか皆目見当がつかない。それでも常磐地方の〝さるかたすみの一労働者たちの提唱〟を近日にもつという。そのような集いのなかから組織が生れ、一日も早く右城地方文化会議（仮称）が結成されることを心より切望している。

――結び――

日高氏は次のように語る

「このほかにいくつもの動きはあります。段初は苦しいでしょうしっかりとクロックをそろえてスタートできるかどうかわかりません。しかしやっているうちにだんだん気運がもりあがってくるでしょう。サークルの衰弱を防ぎ、マス・コミ攻勢に対抗するには最非必要です。大好きにいえば政治的統一戦線、はっきりいえば文化的統一戦線がこれでつくられるのではないかとも考えています」

今回のサークル代表者的百人は、「日本の思潮」「社会科学の方法」「日本の思想」「日本の思想家」「文学者の再評価」などが考えられている。

内容は谷川氏のいう〝世界や中央公論の論文は「ほんやくしたり」ばかりわからない。新雑誌はもっと身近な生活に役立つものでしょう。いままでのような編集者がつくり、読者はよむだけというものではなく、われわれ自身が編集者であり、筆者であり、読者であるような雑誌にしよう〟がねらいになっている。

常磐地方でも準備会を

たしかに新しい形の雑誌であるだけに実現の可否が疑問になる。

そのほかに地方版には「地方の問題――どう考えるか」「見聞作品」（生活つづり方）「ルポルタージュ」「生活記録」「詩」「サークルの動き」「小説」などがあり、新しい綜合雑誌をつくる計画が進んでいる。

「世界」「中央公論」「文芸春秋」があげられるが、いま計画されているのはこの三誌とは全く性格が違う「思想」や「思想の科学」のような思想雑誌でもない。新しい形の雑誌なのだ。一口にいえばそれは全国的なサークル交流雑誌なのである。

国民文化会議という集まりがある会長は上原専祿一橋大学教授、この会議は四年前の昭和三十年七月文化人約六十人が発起人になり「働くものを中心とした明るく平和な国民文化の創造」を目標に、市ゆく全国の職場地域、労働組合のサークルが加わって作られたものだ。毎年一回サークル活動家、文化人を集めて全国集会を開いてきた。上原氏をはじめ、丸岡秀子、南博、日高六郎、鶴見俊輔、江藤淳、野間宏、佐々木基一、朝倉摂ら新しい日本文化の創造にサークルの持つ重要性を認める多くの文化人が、各地のサークル活動家と一緒に語り合い、考えてきた。この集まりが、こんどの雑誌計画の母体になったのである。話は一昨年の秋にさかのぼる。

九州に住む詩人で、現在は九州全域のサークル交流会である〝サークル村〟を作って活動している谷川雁氏が鶴見、日高両氏をはじめ加藤周一、木下順二氏を訪れ、サークルのあり方について激論したことがある。

地方の文化組織を強化する鏡

谷川氏の意見はこうだった。〝サークル運動はいま三つの理由でゆきづまっている。❶サークル人の目がすぐ中央、つまり東京に向き、逆に中央の専門家は地方に根をおろさない。❷サークル間の交流がないため画期組織が始まった

中止か（磐城）の奴行列

青年層から反対の火の手

無駄と時代にそぐわないと

七年に一度の行事として有名な磐城市上船戸の諏訪神社の奴行列は経費がかかることや、時代にふさわしくないとする青年層の反対で暗礁に乗りあげ、八月末に予定していた行列が中止しなければならぬピンチに追い込まれている。

奴行列は数百年前から時の領主が七年に一度、諏訪神社に参詣した古事にならい、明治初年から同神社の例祭である五月に三部落民をあげて延々長蛇の列つくり神社に参詣、五穀豊穣と安全を祈願を行う伝統的な行事とされてきた。

このため神社側でも磐城市誕生初の行事として八月末に挙行しようと予定をたて、市に対して百万円の寄付の申入れなどがなされて御輿を進めようとしたところ、青年層から猛然と反対が出たというもの。奴行列を一度繰出すのには約五百万円の経費がかかるといわれることや半月が一カ月間の練習期間が必要とされ、三部落一千二百人のうち五百人が参加しなければならぬところから時代にそぐわぬ無駄な行事だとソッポを向いているもので、神社側も市側も打つ手がないかと思案投首のかたちである。

磐城市遠藤商工課長談　「五月の定祭に行うのが、農家も忙しいというので八月に延期してやったのだろう。市としても幾らかでも補助はしなければならぬし、無形文化財の価値は十分あるので、永く保存しなければならないだろう。しかし、経費がば大なものであるうえに、経費を各個人が直接負担しなければならないことになるのが青年層の反対の原因でしょう。八月にできないと明年の例祭まで延期とならないとも限らない。ことになるだろうが、まだはっきりした態度は決っていないようです」

前月を上廻る送炭

目標には三萬トン不足

六月期の常磐炭輸送実績は電力用炭が若干増えたことから前月より七百四十トン上回る送炭であったが、同期の計画からみると四千トンの減送となった。

東邦石炭協会の調べによると六月は送炭目標三千万二千トンに対し二十九万七千百九十一トンを送った。この実績は前月より上回っているが前年同期と比べ一万九千四百三十五トンの減送である。しかし、前月の五月より上回ったことは貨車回りもよかったが、電力用炭の需要が増えたことである と見ている。ただ三千トン台は送炭しないと出炭とのバランスがとれず、貯炭はいよいよ増えるものとみられ、六月末で二十六万八千百九十四トンと去る三月より四万六千九百八十五トン増えてきている状況である。

なお七月期は三十三万四千トンの目標をたて、送炭に拍車をかけることになっているが、需要の一番減る夏場を迎えただけに目標を突破することは難しいようだ。

事務補助金を内示

平は百二十五万余円

県では三十四年度の農業資組合事務費補助金交付額を内示した。補助額の内容は役員手当六千三千八円、損害保険費五千八百九十六円、庁費七千四百三十七円、事務所使用料三千三十七円で、これらの額を差引いた残りは職員給九九・六%、職員旅費〇・四%の割合で区分される。石城事務所管内の内示額は次の通り。（カッコ内は家畜商事務補助額）

▽福出…一七〇、二八八円（四、一二一円）
▽山田…一八三、三九七円（一九二円）
▽錦…一七六、七〇〇円（四、九六一円）
▽勿来…一七六、三六二円（七、九三八円）
▽川部…一六六、三一七円（八〇一円）
▽田人…一三三、四五四円（一〇、三四一円）
▽内郷…一五六、二七七円（二、〇九九円）
▽三和…三三七、五七一円（八、六六三円）
▽好間…一九二、五〇九円（三、九二一円）
▽四倉…四五二、八三五円（一一、二九六円）
▽川前…一五八、三三八円（三四三円）
▽磐城…七九三、七九〇円（一五、八七五円）
▽平…一、二五九、四四四円（二七、七〇六円）
▽小川…三〇九、六三三円（一、六〇三円）
▽常磐…二六八、六四一円（二、六七一円）
▽遠野…三三九、八八六円（一四、四六三円）

教育の進展はかろう

県下小中PTA大会

県下小中学校PTA大会は二十五日、磐城市の県立小名浜高校講堂で開き、磐城市の県立小名浜高校講堂で「母と教師の自主的研究大会」を開き、その研究成果を通じて教育環境の進展をはかろうと四つの協議について研究を行ったあと、功労者表彰を行う。研究テーマは❶PTAの組織と運営について❷児童の生活指導について❸学校環境と施設について（小、中部門）❹PTAの教養活動について（小、中部門）

教育研究平市立学校教育研究協議会研究会は八日午後一時半から平第二小学校で、三班にわかれ市内と周辺の視察を行う。コースはAが小名浜―磐間―市内小、中学校教頭会を開き、婦人部会研修の反省、本年度研修会について、夏期休業についてなど協議する。

水上安全磐城警察署では、講習会を開く。十日午後一時から問題で水上安全法（救急法）講習

勿来は一千三百万円

今年度の施設整備費など決る

新市町村の建設計画

県石城事務所では新市町誕生記念事業法により管内市町村の三十四年度建設計画の調査費を次のように明かにした。

調査費関係では平市では二十九年から三十年度内に吸収合併した新市内の建設計画調査費を五十万円で、ほか国庫の補助額を十四万四千円を要請している。他の磐城、勿来市および好間村も国庫補助額は平市と同額だが調査費を必要とする給額は磐城市四十万円、勿来市五十万円、好間村は三十万円また今年度内に着工、完成する施設照備費は平市では六百万円で綿葉の照備費を行なう。財源の内訳は国庫二百八十万円、地方債二百万円、一般財源から百二十万円を支出する。勿来市は庁舎建築で、二千六百万円のうち国庫三百五十万円、地方債七百万円、一般財源から一千二百五十万円、用言助車と道路照備を行なうことになり百二十万円。選挙時は百三十五万円で、常磐市は百十八万円でそれぞれ道路照備を行なう計画である。

なお建設計画の調査は今後十カ年間における人口、産業、財源などの状況を調べ、この調査に照らして市町村に見合うような計画を立案するもの。

議長に橋本氏

久之浜町、大久村学校組合議会議員の議長、副議長はこの程ど改選議長に橋本卯三郎、副議長に柳井栄一氏を選出した。

チップ工場が進出

双葉と平に四工場

最近、双葉地方に製紙の原料となるチップ工場が続々と誕生した。すでに富岡町では二つの工場が操業をはじめたほか、浪江地区にも計画され、薪炭がガス、電気器具の進出され、新らしい農村の副収入がもたらされたと地元では大張切りである。

チップは薪炭用の木材、廃材を利用できるところから大きく進出し、双葉地方の年間生産量約百万石の木材転用にもなる。石城地方とは不況打開策としても期待を寄せ、すでに平市に一工場が操業し、か

漁港整備費決る

久之浜　避難港事業費も

久之浜町漁港照備と避難港建設のため、木田町長を顧問一行はさきに上京、建設省などと陳情していたが、このほど本年度漁港照備費として三千万円、避難港工事費として三千百万円が決定したと連絡があった。しかし地元負担金の額が五百万円にのぼるため、村当局では財源の見通しがきかないためさらに町長らが上京、石城大臣などに補助費の増額を陳情する。

会長に藁谷氏

石城小中校の図書館研究総会

石城地区小、中校図書館研究会総会は三日午後一時から平第一中学校に約八十人の各校図書館係り教諭が集まって開かれた。平、中校宇田書教諭の"図書館での教科（国語）と関して研究発表"があり続いて、石城SLA（学校図書館）総会に入り、三十三年度の決算、事業報告、三十四年度事業計画と予算の審議を行ったあと、役員の改選、規約の一部変更について協議した。総会が終って平、中校の図書館についての巡回研究会があった。❶図書館の状況❷各学校の図書館係以外の先生方の理解と関心を持たせる❸子供たちに読書目録の整備などの要望があった。

続いて各学校の図書館について座談会を行った。役員は次の通り。

▽会長、藁谷伸六郎（湯本二小）▽副会長、佐藤七之助（上遠野小）▽監事、鈴木敏郎（内郷一中）▽監事、塩光雄（郷小）▽相田勝（綿発中）▽▽理事は各学校長一人と図書館係各二人。

平二小の七月行事予定

◇四日平市教育委員研究会例会、音楽鑑賞会、校外補導（夜間）第八回学校保健研究大会◇五日同第二日図工教育研究大会◇五日同第二日参観来校内容◇白水小◇六日授業日（一年）◇七日校内学力調査、教科書展示会、地区新聞研究会総会◇九日疾病異状者検診◇職員会、授業日（二年）◇十二日校内音楽会◇十四日水泳講習会◇十五日授業日（三年）◇十六日音楽会（公開）成人教・校外補導委合同会◇十七日通信簿・校外補導委合同会◇十七日通信簿提出、少年会支部総会、婦バラ教組◇十八日学校参観日◇二十日第一学期終業式。

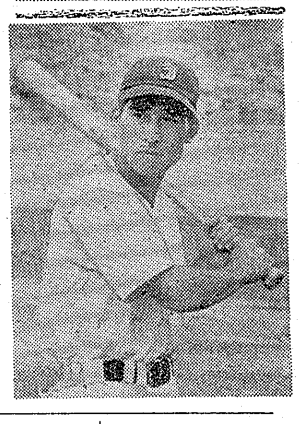
魚菜市況

青果（単価キロ当り）

▽ホウレン草（一束）七一一七
▽菜類（〃）三一五
▽サントナ（一束）八一一五
▽ウメ
▽大根（一束）一〇一一三
▽ネギ　一〇一一〇
▽ナス　三〇一四一
▽キュウリ　一五一一五
▽南瓜　一七一二一
▽瓜　二一一八
▽玉葱（一個）二五一二六
▽西瓜（一個）三〇一八〇
▽桃　六一二一
▽バナナ　二四〇一二六〇
▽ピワ　二五一八五
▽プラム　四〇一七〇
▽トマト　二五一四五
▽タマゴ（一個）一〇一一二・五
▽ラッキョ　二一一一八
▽サントナ（一束）五一一六
▽ウメ　二五一六五

後楽園めざす常磐チーム

後楽園の桧舞台へくりひろげる真剣の球戦、第三十回全国都市対抗野球東北大会は来る十一日から仙台市宮城球場で開かれる。本県からは昨年の盛夏チーム常磐炭砿と湯本鉱業が出場、地元常磐は第一回戦に骨董株式と対戦する。東北の雄、常磐炭砿は投手陣に近藤、大築をはじめとして新人水野、鈴木のほか南遊撃手などを加え投打とも例年にない充実ぶりを示し、これに投手の練習試合数で二年連続後楽園出場の野望に燃えている。以下後楽園めざす常磐炭砿チームにスポットをあてるとする。なお今年は東北から二チームが出場できることになっている。



近藤、水野両投手に期待

強打南遊撃手を補強

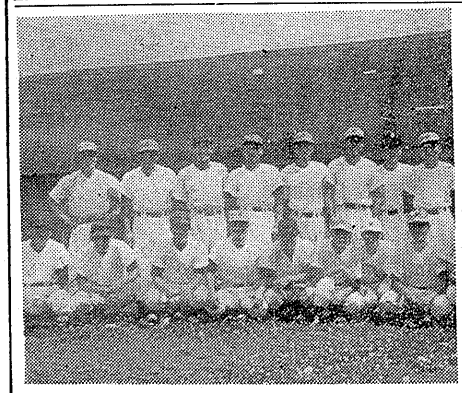
昨年、後楽園の全国大会に駒を進めた同チームは上昇線の一途をたどり、早くも一日からホーム・グラウンドの浅貝球場で合宿練習に入った。今年のチーム内容をみると昨年度の強敵湯本伸銅はじめ東北大会などに二度目の出場した川田、秋山両投手、古賀遊撃手の退部は一まつの寂しさがあるが昨年の県大会で最後殊勝選手に選ばれた近藤と大築両投手のいちるしい進出、さらに新人水野（平商）鈴木（福竜工）大越（福ケ崎高）に加え、古賀にかわって湯本から補強した南遊撃手などにより大きく力バーされている。このほかプロ野球の東映から小野寺補手近鉄から田中投手を入団させたがプロからノンプロ団の規制により出場できないのが寂しいが投手陣をみると近藤は昨年に比べ若き上りのシュートに重みが増し、田沢、松田上撃ってこれも一段と引立っている。打撃は伝統的な常磐の持味とあって上下位とも双金トリオ。予想されるところではトップに佐々木、二番蔵本、三番にホームランで定評ある陽、四番に菅原、五番田沢（主）六番松崎、七番は最近当りを増してきた松田、八番に藤田、ラストにエース近藤あたりという陣容で水爆とはかる打線が爆発するだろう。

とくに今年は炭砿不振のあおりから選手就職ができなかったが、地元に強敵チームを招待するなどして試合経験を積んでいる。殊に仙台に一勝、川崎トキコに二勝、サギの宮に二勝、日興自立に一勝のほか専修大学などと対戦試合経験を充分につけている。

さらに今大会の盛勝候補国といわれる釜石とは一度も親善試合をしていないことが相手の投打がどこまでかとの予想がたたず、またダーク・ホースと目されている東北電力とはペープ・ルース杯大会でたはかドロンパに威力のあることが定評、それに大築の強肩古賀にかわり南遊撃手（元湯本伸銅）二塁に引沼（内郷商）などを補強、田沢、松田上撃ってこれも一段と引立っている。打撃は伝統的な常磐の持味とあって上下位とも双金トリオ。予想されるところではトップに佐々木、二番蔵本、三番にホームランで定評ある陽、四番に菅原、五番田沢（主）六番松崎、七番は最近当りを増してきた松田、八番に藤田、ラストにエース近藤あたりという陣容で水爆とはかる打線が爆発するだろう。

とくに今年は炭砿不振のあおりから選手就職ができなかったが、地元に強敵チームを招待するなどして試合経験を積んでいる。殊に仙台に一勝、川崎トキコに二勝、サギの宮に二勝、日興自立に一勝のほか専修大学などと対戦試合経験を充分につけている。

さらに今大会の盛勝候補国といわれる釜石とは一度も親善試合をしていないことが相手の投打がどこまでかとの予想がたたず、またダーク・ホースと目されている東北電力とはペープ・ルース杯大会で



「写真は（上）エースの近藤投手（中）田沢監督（下）勢揃いしたメンバー」

監督	神好一郎41	中央大	
総監督	坂本徳治46	磐商	
監督	田沢政雄32	小諸商	
コーチ	小田野柏42	福岡商	
マネージャー	大沢紀三男33	勝沢商	
主将	菅原一美29	堀商	
投手	近藤　功19	平工	
同	大築　広23	内郷商	
同◎	田中照雄25	岐阜商	近鉄
同◎	大越よし雄18	福ケ崎商	
同◎	鈴木正行18	福電商	
同◎	水野一平18	平商	
捕手	蓮田政一27	鹿島商	
同	花方恒夫20	神奈川商工	
同	すぎ山松男19	宇和島東商	
同◎	小野寺克男26		
宮城農商●	東映		
一塁手	田沢政雄32	小諸商	
同	広田　陽20	福島商	
二塁手	蔵本　勇25	県商	
同◎	引沼　通18	内郷商	
三塁手	松田勇吉23	帝京商	
遊撃手	田沢隆吉24	岩村田商	
同◎	南　温平26	田辺商	
左翼手	佐々木敏27	宮城水産	
中堅手	菅原一美29	堀商	
同	米田　実21	京王商	
右翼手	松崎圭佑24	平工商	
同	高紀国夫23	帝京商	

カメラは田中

磐城の中学校対抗球技大会

県中体理事磐城地区予選の球技大会は、五日午前九時から会場で行う。

◇野球…一中、日量球場◇籠球…泉◇排球…渡辺◇卓球…一小◇ソフト…江名◇剣道…泉小◇陸上は十三日一中で行う。

洗濯の御用命は―森洗染舎
問雨に拘らず納品の厳守　お電話次第で直ちに参上
平市新川町　TEL 4958

割烹　開花　四時　電五四六八

洋服は高島屋　南町　学校指定商

DP　カメラとシネ　冨士商会　電4744

夏の家具
テッキチエアー　冷蔵庫
夏屏風
すだれ
はいちょう
人気の焦点
テコラー製　食卓　各種
家具のデパート　あるが
平市銀座店　電2223
〃四丁目店　電4295
大量取揃え　大特売中

ご散歩がてら如何です？
平母店　平本店　夜8時まで
夜間営業致しております
平母店発売品
平本店発売品
紳士グンゼM判スプリングシャツ……一五〇円
婦人ベチコート……八〇〇円
子供エスパック……三〇〇円
東作ナイロン編カッター……四〇〇円
乗用傘防水加工済……三八〇円
三三〇円の品……二七〇円
縫柄リンネット夏掛……四五〇円の品……三五〇円
四寸無双帯……四〇〇円の品……二九〇円
三桃東京ゆかた（三反組）……一、五〇〇円の品……一、〇〇〇円
絹一〇、〇〇〇番キャラコ……八〇〇円の品……七〇〇円
絹綿縮加工……三三〇円の品……一三〇円
メロンタッチ色無地
純毛ラメ入りポーラー……八五〇円の品……五八〇円
全店中元大売出し
大黒屋　皆様の利益を図る店

開店一周年記念感謝週間
艶麗な「ビルマ」スタイルの社交女性
そして螢の精に以たる「新ヌード調」
は音律と灯の交錯に豊かな南国情緒
を満たします
夏の一ときを是非どうぞ……
キャバレー　ラシオ
平市南町東邦銀行前TEL4214

魅力溢るゝ　三和の
ブラウス
ワンピース
毎日変つた柄が続々入荷
致して居ります
是非御一覧下さい
外出着に純毛ツーピース¥2800より
純毛スカート　¥950より
其の他評判の良い下着類各種
貴女の服装の御相談はどう
ぞ御気軽に御越下さい
三和婦人服
平市銀座　TEL4210

清新で　気のきいた
御中元　御贈答用品　御案内
真心のこもつた贈物
それには……
信用のある優良品を
お選び下さい
弊店は御中元好適の本当にお奨め出来る優良品を豊富に取揃へ自信のあるお値段と美しい個人包装で御奉仕申上げて居ります。
いつも良い品　正しい値段　会員専の店
受けて恥ぢない　商品券　美風箱入調製
中野洋品店
平市2丁目　TEL・2053

双葉
双葉支局
双葉郡富岡町釜田（駅前）

県立公園五十人山を整備
葛尾村が十ヵ年計画で

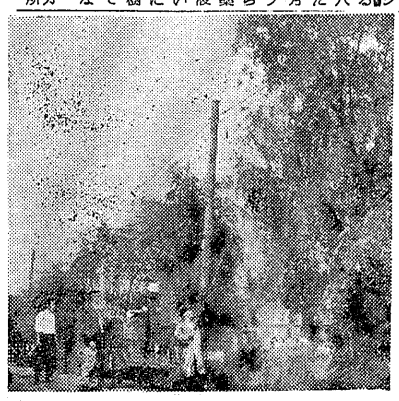
県立公園としてその風光明びな姿を知られる葛尾村五十人山を整備し観光客誘致を図ろうと村当局で検討を進めていたが、この度開かれた村議会で三十万円を計上、観光五十人山の整備に乗り出すことになった。なお整備は十年計画で行う予定という。五十人山は浜通りの福島が新興子なら山では五十人山が観光地を代表するといわれるほど風景がよく標高は千供で八百メートル。すでに一昨年、新興子とともに県立公園に指定されている。しかし同山を管理している葛尾村は財政がますしいため殆んど整備されておらず県立公園としての設備はゼロ、僅かに風光だけでメンツを保つて来た。それだけに同山で楽しもうと訪れる観光客は数えるばかり、それも訪れた観光客は施設の不備にいずれも不満の声を残して立去る者が多かつたという。このため村当局から県立公園の名にはじない立派な公園にし、観光客の落す金で村財政がうるおうなら一挙両得だから整備をしたらとの声がもち上り、村当局でもやつと御腰を上げ、僅かではあるが三十万円の整備費を計上したわけ。

この整備が進めば観光五十人山として広く遊山客を誘致することが出来るだろうと期待をもっている。

耳鼻咽喉科
鈴木医院
平市田町七三　電二六一三

88ヵ所に発生
アメリカシロヒトリ

平病害防除所など関係機関は綿力をあげて来月下旬からアメリカシロヒトリの徹底防除を行つているが、三日までに三十九本、八十八カ所に発生しているのを確認したことに入つて最初の発見は去月二日に平市内の新川土手のサクラに発生しているのを見つけてから発見と防除に防除班が連日、新聞〝デイプテレツクス〟の七百倍液を散布している。いま発生しているのは一化期の幼虫で、サナギになる二化期までの今後二週間は樹木を食い荒すわけだが、一化期では昨年より二十八本、一カ所少な



【写真は薬剤散布するアメリカシロヒトリの防除班＝県病害防除所付近にて】

自治功労者を表彰
双葉郡関係は根本さんら35名

このほど開かれた県町村会議長会で、双葉郡下の自治功労者として選形された。顕彰議員及び役場職員は次のとおり。

議員◆広野町＝根本岩広◆富岡町＝渡辺一郎、原田徳宝、細山助三、堀本清助◆川内村＝猪狩安雄、草野喜一、渡辺彌、笛内子之吉、秋元繁、大和田清◆楢葉町＝小野鍵兄、結城定信◆大熊町＝志賀篤實、泉光◆葛尾村＝菅野伊和吉、松本定與、松本三三、松本孝◆浪江町＝星直剛、島田亀次郎、菊地治尚、込堂好夫、上田善三郎、坂本勘竹村初太郎、今野正三、三瓶通◆久之浜町＝北郷藤三郎、新妻源八◆大久村＝猪狩勇、坂本源

稲作管理の心得
今年の気象状況は低温

平農業改良普及所では今後の稲作管理についての心得を発表したが、ことしは稲作が育苗技術の進歩と早植栽培の推進にともない田植期も進み、現在の成育もよいが、今後の気象状況は低温、寒雨、台風、早冷などの予報が出されているため、とくに稲作管理には注意が必要とされている。

早植栽培田　「水のかけ引き」の中干しでは、成育期間の延長ともなつて水田土壌の還元が進み、根の障害をおこしやすいから高温の日に適宜に中干しを行うこと。

「低温時の深水」は七月中に三回（上旬半ば、中旬はじめ、下旬後半）の低温が予想されるので、とくに高冷地帯は幼穂が低温障害を受け不稔穀の多発が懸念されるから障害温度以下の気温のときは深水する。

病害虫防除　「いもち病」想育いもち穂枯いもち病の発生は出穂期前後の天候によつて密しく異なるが普通栽培田以上に厳しい発生をみることがあるから穂期および出穂初期の薬剤防除を励行すること。

「もんがれ病」高温性病害で出穂の早いものに発生しやすいから特に発生している地帯では薬剤防除を励行すること。

普通田管理　ことしは普通栽培田においても例年より五日早植えし、田植後の天候は平年より高温に経過したため稲の成育は相当進んでいるから成育に応じた管理を行うことが必要だ。また八月下旬以後の異冷対策として穂肥の適正な施用時期、止葉の早期切上げ、防除剤の使用時期と培土の時期の適正、いもち病の防除などについて管理を行うこと。

災害対策　ことしは、すでにヒヨウ害、水害などの気象災害が各地におきているが今後も平市の災害発生が心配されるので水替または冷害が常に発生する地域は万全の対策を講ずるとともに災害発生時においては臨機応変の処置をはかるようにする。

「二化メイ虫」普通栽培田に比べて特に発生が多く、幼虫の歩留りが高いから二化期の発生も多のでも、一化期の防除が十分でないものや二化期の発生が多い地帯では二化期の防除も行うこと。

「追肥」早植栽培田に対する追肥は倒伏と病害の発生を多くしやすいから、なるべく追肥をしないようにし、はなはだしく肥切れしたものに限り穂肥として少な目に追肥すること。

「中耕除草（除草剤の使用も含む）と培土」早植と、その後の天候による成育促進に対応し適期を誤らないこと。

—七日早植えし、田植後の天候は平年より高温に経過したため稲の成育は相当進んでいるから成育に応じた管理を行うことが必要だ。また八月下旬以後の異冷対策として穂肥の適正な施用時期、止葉の早期切上げ、防除剤の使用時期と培土の時期の適正、いもち病の防除などについて管理を行うこと。

災害対策　ことしは、すでにヒヨウ害、水害などの気象災害が各地におきているが今後も平市の災害発生が心配されるので水替または冷害が常に発生する地域は万全の対策を講ずるとともに災害発生時においては臨機応変の処置をはかるようにする。

富岡漁協組に補償
〝アユ〟の死滅問題解決

（双葉支社発）消防協会双葉支部皮、ルイシングベ エーバー猟きが五千七百七十五根の十四万八千坪で最も多い。非住家は六千三百五合長は本年は二万五千四の稚魚を放流しているので多少の死魚があアユ孵化を目前にひかえて工事中の橋脚コンクリートが流失したため富岡川の〝アユ〟に甚大な被害をこうむつた富岡川漁業協同組合＝組合長坂本源次氏＝と施工者である加賀田組との間に補償をめぐつて争われていたが、この度と富岡土木監督署の斡旋で加賀田組が二万円の補償をすることで話合いがついた。この工事は国道にかかつている富岡橋の改修のために行つていたアバット工事中にコンクリートが流れ川に流れ〝アユ〟の稚魚に大きな被害を及ぼしたというものだが、被害はさして大きくなく二万円の補償でかたがついたもの。なお同漁協組の坂本組合長は本年は二万五千四の稚魚を放流しているので多少の死魚があつても約束にはさして影響ないでしようと語つている。

会長には百足氏
双葉地方公衆衛生協会の総会

このほど開いた双葉地方公衆衛生協会ではこの度の総会を開き役員の改選を行つた結果次の通りきめた。

会長百足浩一（浪江）副会長島原孝（富岡）岡片寄増太郎（久ノ浜）の各氏。

体育館を建設
久之浜中で町当局に陳情

久之浜中、中PTA役員連合協議会は一日開き研修旅行と中学校体育館新築について協議した。体育館については、いろいろ議論を出たが結局鉄骨兼用の鉄骨コンクリート建の十字型、建坪は百八十九坪で工費八百万円となつており、PTAと学校が協力して町当局に

双葉支社を開設
七月一日富岡駅前に

本社は創刊十周年を記念して、今年度支社の増強をして来たが、去る七月一日から双葉郡富岡町に双葉支社を開設致しました。双葉地方は従来交通販売所のため、購読者各位にもいろいろと御不自由をかけて来ましたがこんどは月二回の双葉版も設けて日ごろのご愛顧にこたえることになりました。どうぞ旧に倍するご支援、ご鞭撻をお願いします。

支社　双葉郡富岡町釜田（駅前）
支社責任者　遠藤孝倫
常磐毎日新聞社

富岡農協を再建
夜ノ森組合と合併し

過賞不振で財政が前に追い込まれていた富岡町富岡農協同組合と夜ノ森農協同組合は、合併による再建策を農協組合に提案したが、この度と両者とも合併条件が了解点に達したので、新組合長に元夜ノ森農協組合長の大和田嘉穂氏を選び、富岡農協組合長で現在双葉郡窓口農協組合長の大和田嘉穂氏を選び、富岡農協組合再建のため、町当局では近く融資を行う予定という。

川内で敬老年金
85才以上は年五千円

川内村では本月から同村に一年以上居住する七十五才以上の老齢者に敬老年金を支給することが去敬の村議会で決議された支給額は、七十五才から八十四才まで三千円八十五才以上五千円で、この年金の恩恵に浴する該当者は百四十名でこの制度は昨年大久村が実施、同村は郡下で第二番目である。

双葉町村長会

双葉郡町村長会は四日午前十時から県庁第庁舎に開き、移動県庁の開催について、各町村公共事業費三割負担を本年から実施されることになつた問題、その他を協議した。

富岡漁協組に補償
〝アユ〟の死滅問題解決

（双葉支社発）消防協会双葉支部皮、ルイシングベ エーバー猟きが五千七百七十五根の十四万八千坪で最も多い。非住家は六千三百五合長は本年は二万五千四の稚魚を放流しているので多少の死魚があアユ孵化を目前にひかえて工事中の橋脚コンクリートが流失したため富岡川の〝アユ〟に甚大な被害をこうむつた富岡川漁業協同組合＝組合長坂本源次氏＝と施工者である加賀田組との間に補償をめぐつて争われていたが、この度と富岡土木監督署の斡旋で加賀田組が二万円の補償をすることで話合いがついた。この工事は国道にかかつている富岡橋の改修のために行つていたアバット工事中にコンクリートが流れ川に流れ〝アユ〟の稚魚に大きな被害を及ぼしたというものだが、被害はさして大きくなく二万円の補償でかたがついたもの。なお同漁協組の坂本組合長は本年は二万五千四の稚魚を放流しているので多少の死魚があつても約束にはさして影響ないでしようと語つている。

〝ワラ〟屋根の一掃運動
双葉の消防団長会で

一職員坂本貞雄（大久村）吉田庄之助（大熊町）板倉重蔵（浪江町）島山辰雄（同）の各氏。

十円貯金を呼びかけ
オリンピック見学資金にと
富岡郵便局が町民に

富岡郵便局（釜田泰三局長）では一日、十円貯金を町民に呼びかけている。これは五年後に開かれる国民待望の東京オリンピック大会に東京見物をかねて見学を行なうそれには今から一日、十円ずつ貯金をしておけば四年後には元利ふくめて一万五千三百六円になり、見学も安心して出来るというもの。去る一日から局員が町民に勧誘しているが、すでに百人以上の申込みがあるという。

川内村の助役決らず

川内村の定例村議会は予算その他の審議を行つた。また、しばらく空席になつていた助役選任の件も新村長から提案されるのではないかと見られていたが次会に持越された。助役問題について河原村長は「難行している」ようだ。また臨年急に迫めないだけで、これから四年間長期一体となつて村政につくすためには数ある候補中、適任者から決めればよいが、

久之浜の海開き
12日、波立薬師の大祭も

久之浜町の海開きは十二日の日曜日行うことに決定。地元観光協会で海開き中の行事について計画を練っている。なお、同町波立薬師大祭は十九日が宵祭り、二十日が本祭りである。

平五小の七月行事予定　六日学校参観日、七日校内音楽会、九日クラブ活動、十日公開音楽会、十一少年会総会、PTA教育部会、十三日職員会、学習指導法研究会、十四日、PTA役員会、十六日クラブ活動、貯金日、十七日通園掃出、学力調査、十八日PTA半日学校（文化講座）、二十日第一学期終業式、校舎内外大掃除

広瀬の牛豚肉

戦没者慰霊祭　磐城市は八日午前十時から小名浜第二小学校講堂で戦没者の慰霊祭を行う

菓子段銘　最中　平凡

では相当の難色が予想されているが、PTA会員の寄付と会費の増額でおぎなうことにしている。PTAが体育館の新設をいそいでいる理由は同校が雨のたび明礼を行うことが出来ず、しかも学校での祝賀行事や卒業式はよその学校講堂をかりなければならない不便をかこつていた。このためPTAや生徒のあいだから講堂兼用の体

新市町村建設

双葉、大熊町、四百五十万円

整備補助金

同町に、このほど新市町村建設の施設整備補助金が決つた。

双葉町、三百三十六万円
大熊町、四百五十万円

文具のナガノ

平市銀座西　電二〇四八

災害鉄道工事の入札

水戸鉄道管理局では二十八日、夜ノ森—大野間などの二カ所の鉄道災害工事の入札を行つたが、夜ノ森—大野間は宇佐見建設（株）が四百五十万円、広野—木戸間は八十五万円で木田鉄設が落札した。

富岡労基署で安全視察

富岡労基署　双葉地区医師会と富岡労働基準監督署では、事業場の安全衛生管理者懇談会と市築場の安全視察をこの度と行つた。安全視察は木戸村石川林業株式会社、鉄道建設興業久之浜作業場などを見学終つて久之浜町孔原旅館で研修懇談会を行い、本年度より実施する災害防止総合五カ年計画に協力することを決めた。

新市町村建設

双葉、大熊町、四百三十六万円

整備補助金

同町に、このほど新市町村建設の施設整備補助金が決つた。

双葉町、三百三十六万円
大熊町、四百五十万円

祝双葉支社開設

久之浜町役場　町長 木田茂平　助役 遠藤登　収入役 新妻啓三郎　議長 富岡弘一
大久村役場　村長 水野谷秀夫　助役 木田茂一　収入役 谷平初男　議長 猪狩勇
広野町役場　町長 根本喜和寿　助役 鯨岡太郎　収入役 佐藤忠豊　議長 北郷庄太郎
楢葉町役場　町長 青城貞要　助役 磐城晃　収入役 坂本実　議長 松本
富岡町役場　町長 山田次郎　助役 武山要　収入役 飯土井義孝　議長 杉本俊一
川内村役場　村長 河原武　収入役 猪狩一　議長 大和田清
大熊町役場　町長 小畑重　助役 志賀正　収入役 栃久保秀　議長 石田真茂宗
双葉町役場　町長 富沢理　助役 中島政徳七　収入役 横山達　議長 朝田貫一
浪江町役場　町長 石井孝　助役 吉田雄七登　収入役 鈴木勝　議長 坂本勘
葛尾村役場　村長 松本佐伯　助役 松本寛　収入役 吉田茂充　議長 松本陸保依

土木建築業　瀬戸稔　久之浜町　電話一七番
土木請負業　菜花一　双葉郡大久村
土木建築業　新田宗孝　広野町　電話四二番
遠藤久一　広野採石工業所　電話一八番
県会議員　松本光信
県会議員　早川竣通
土木建築請負業　山田組　山田三郎　広野町　電話四一番
石川林業株式会社　社長 石川浅次郎　本社 双葉郡楢葉町木戸　電話一二〇番
土木建築設計請負　高野建設工業株式会社　楢葉地　電話四六番
双葉土建　高部武義　富岡駅前　電話三七〇番
土木建築請負業　田中好友　富岡町　電話七九番
富岡町本岡字防小屋四番地　東和建設有限会社　取締役社長 坂本智　電話二五六番
土木建築業　東組　猪狩・東　富岡町　電話二三九番
丸川林業株式会社　社長 川原百人　川内村　電話自宅三ノ甲　工場三ノ乙番
社団法人　福島県建設業協会　双葉支部
支部長 坂本源次　副支部長 横山直二郎　会計 田中清太郎　理事 小幡隆久　〃 原長太郎　〃 瀬戸新一郎　監事 田中好友　〃 宇佐見イ智　〃 佐々木一男　〃 阿部功　〃 桜本セ　〃 岸チヨ　〃 水野谷彦次郎
土木建設砂利採取業　小川建設　小川周一郎　双葉郡大熊町大字下野上
土木建築業　降矢工務所　降矢忠　浪江町　電話三六九ノ甲
土木建築業　泉田良夫　浪江町　電話三三一ノ甲
土木建築業　中野義重　浪江町　電話三町ノ乙